

# 【小農宣言2周年企画：オンラインセミナーのご案内】

## ポストコロナと持続可能な食と農の未来

### 小農・家族農家にとっての国連「小農宣言」を考える



新型コロナが世界に広がる中で、ポストコロナと持続可能な食と農の未来に関心が集まっています。新型コロナではグローバルなフードシステムの脆弱性が明らかになりました。その一方で、地域の持続可能な農業を担う小農や家族農業が、未来の担い手として注目されています。

2018年12月18日、国連「小農と農村で働く人々に関する権利」宣言が採択され、国際的に小農・家族農業がスポットライトを浴びる中で、国内でこの動きをどう考えていけばよいのか、農家当事者の視点からお話します。

**2020.12.18 (金) 19:30-21:00 【開催方法】 Zoom オンライン**

【参加費】 無料 【定員】 100名

【申し込み】 12月15日 (火) までに、「名前 (ふりがな)」「所属 (ご職業)」「お住まいの都道府県」を明記の上、事務局までメールにてお申込みください。

【講師】 松平尚也 (小農・家族農業連絡会事務局、有機農家)

齋藤博嗣 (一反百姓「じねん道」/家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン)



■松平尚也 (小農・家族農業連絡会事務局、有機農家)

京都市・京北地域の有機農家。農・食・地域の未来を視点に情報発信する農家ジャーナリスト。京都大学農学研究科に在籍し世界の持続可能な農や食について研究もする。NPO法人AMネットではグローバルな農業問題や市民社会論について分析している。農場「耕し歌ふあーむ」では地域の風土に育まれてきた伝統野菜の宅配を行いレシピと一緒に食べ手に伝えている。2020年より家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン常務理事に就任。



■齋藤博嗣 (一反百姓「じねん道」/家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン:FFPJ)

2005年に東京から茨城へ夫婦で移住・新規就農。子供たち2人と共に小さな家族農園「一反百姓」を営む。アグロエコロジスト。農的ワークライフバランス研究家。2017年小規模・家族農業ネットワーク・ジャパン (SFFNJ) を有志と設立。2019年よりFFPJ常務理事に就任。国連『家族農業の10年』を支持するとともに、日本および世界で小規模・家族農業の役割と可能性を再評価し、農業・食料政策の中心に位置づけることを求める活動を進めている。

【主催】 国連小農宣言・家族農業10年連絡会 <http://unpesantsrights.blog.fc2.com/>

【お申込・お問い合わせ】 [peasantsrights@gmail.com](mailto:peasantsrights@gmail.com) 事務局：松平、齋藤

※このイベントは高木基金に支援を受けて開催しています。